

# ALCARE

つながりあて、ひらくケア。

## セルケア<sup>®</sup>2 Cellcare 2

ツープースオストミーシステム  
2-Piece Ostomy System

### 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書はお手元にご置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175  
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)  
www.alcare.jp

**はじめに**

〔セルケア2〕は、排泄物を溜めるストーマ袋と、皮膚に固定する粘着部分の面板が独立した二品系(ツープース)器具です。面板はあらかじめカットされたプレカットタイプを標準とし、ストーマ袋は生活のシーンに合わせて選択ができます。安全にお使いいただくため、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従ってご使用ください。

なお、商品についてご不明な点は、お客様相談室までお問い合わせください。

**使用上のご注意**

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたい、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。

誤った取り扱いを行うと排泄物のモレが発生し、モレによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

**注意**

- ストーマ周囲には軟膏など、粘着力の低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下によるモレの原因となります。(被膜剤もその特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください。)
- 剥離フィルムを剥がした面板の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下によるモレの原因となります。
- 一度剥がした面板をもう一度貼るのはお止めください。粘着力低下によるモレの原因となります。

### 使用手順(面板の貼り方)

※フリーカットをご使用の方は①から、プレカットをご使用の方は④からお読みください。

**●フリーカットの場合** ※イラストはFです。

- ①ストーマの大きさを測ります**  
ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてついています。
- ②面板に穴を開けます**  
穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面板の剥離フィルム側に重ね合わせ、面板に穴の大きさを書き写します。その線よりも1~2mm程度大きめに面板を切り取ります。
- ③穴の大きさを確認します**  
剥離フィルムを剥がす前に面板をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

**このような場合には**

- ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合  
別売りの各種皮膚保護剤で、皮膚表面を整えから面板を貼ってください。または、凸面タイプの面板をご使用ください。
- 平坦または陥没タイプのストーマの場合  
面板の穴をストーマより2~3mm大きめに開け、別売りの各種皮膚保護剤で、すき間を埋めてください。または、凸面タイプの面板をご使用ください。

●ご使用中のストーマ袋の中を水などで洗浄することはお止めください。袋の破損によるモレの原因となります。

●器具を装着状態で折り曲げないでください。ストーマ袋の穴あきによるモレの原因となります。

●面板の粘着部分が冷かなくなっている、貼り付きが強い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。

●フリーカットの場合、面板に開ける穴は、定められた有効径を越えて切らないでください。面板からのモレの原因となります。

●排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、適宜お捨てください。溜めすぎると重みによる剥がれの原因となります。

●器具の使用日数が長くなると、粘着力低下によるモレの原因となりますので、ご注意ください。器具の交換日数は、発汗や排泄物などにより異なりますが、2~5日交換が目安です。

●万一、肌に合わない時は使用を中止し、医師または看護師にご相談ください。

### 保管上のご注意

- 粘着力不足など品質劣化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。
- 高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
  - 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
  - 直射日光があたる場所での保管
  - 圧迫がかかる場所での保管
  - 長期保管
- \*箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。
- 面板の剥離フィルムを剥がした状態での保管

### 廃棄上のご注意

使用済みのストーマ器具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。器具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合もありますので、詳しくは各自自治体にてご確認ください。

### セルケア2の種類と各部の名称

**●面板**

**F** 平面タイプ  
交換目安:2~5日

**Fc** 凸面タイプ  
交換目安:2~5日

**●ストーマ袋**

**Df** コロ/イレオストミー用

**Cf** コロストミー用

**TDf** コロ/イレオストミー用

**D** キャップ イレオストミー用

取り外し用タブ、通気回復フィルター、排出口、クリップ、フラップ、面ファスナー(ループ面)、面ファスナー(フック面)、プレート、折り上げライン(青線)、口具キャップ止め具、口具、口具キャップ

**TDfをお使いのお客様へ**

●面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態を使用すると、接着力が弱まり、衣類を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。

**U** ウロストミー用

ダブルロック口具部、操作つまみ、カサ部分、キャップリング、ツメ部分、ハネ部分、接続チューブの接続部、逆流防止弁、ダブルロック口具

接続チューブの取り扱いについて詳しくは、「使用手順(排出口の開閉方法)<Uの場合>」[接続チューブの使用上のご注意]をご確認ください。

**●入浴用器具**

**BC** 入浴用キャップ

入浴時などに最適な肌色のコンパクトなキャップです。

### 準備

**① 必要物品を用意します**

**② 面板を剥がします**  
※イラストはFです。

皮膚を傷つけないように片手でお腹の面板近くを押さえながら、上から下へゆっくり、やさしく剥がします。

●面板が皮膚に密着して剥がれない時は、測膜剤を使いながら剥がすとよいでしょう。

**使用上のご注意**  
入浴後の交換は、お避けください。面板の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がしにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たてた面板の温度が下がったのを確認の上、行ってください。

●ご使用の面板とストーマ袋  
●ストーマメジャーまたはカッティングゲージ  
●石鹸  
●ガーゼ  
●ティッシュペーパー  
●オムツ袋  
●ぬるま湯  
●ハサミ(フリーカットの場合)  
●細い油性ペン(フリーカットの場合)

### 準備

**③ ストーマ周囲を清拭します**

【ウロストミーの方の場合】

**④ 面板を貼る位置を確認します**

左手側にストーマがある方は、この矢印 ↑ が上にくるように貼ってください。

右手側にストーマがある方は、この矢印 ↑ が上にくるように貼ってください。

右手側の方は右ストーマ、左手側の方は左ストーマ

剥離フィルムに印字されている矢印に合わせて、面板の方向を確認してください。

その後、皮膚をよく乾かします。  
\*ドライヤーの熱風はストーマに接触を与えますので、使用は避けます。

### 使用手順(排液バッグとの接続方法)

就寝時など、排液バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

- ①口具キャップを外します**  
排出口を上に向け便が出てこないよう注意しながら、口具キャップを外します。
- ②端部を差し込みます**  
排液バッグの端部を、口具の太くしているところを超え、差し込みます。
- ③端部を引き戻します**  
排液バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

**使用上のご注意**  
排液バッグに接続の場合、詰まりにご注意ください。排液物が定状態の場合、排液バッグのチューブ部分が詰まり、流れにくい場合があります。流れが悪い場合は、排液バッグの併用をお勧めください。

**この場合には**

●ご使用中に「ガスがスムーズに抜けにくい」と感じたら  
- フィルターに排泄物の付着が見られる場合は、こするように拭き、取り除いてください。  
- フィルターを裏側と裏側から指でつまみ、2~3回圧縮してください。

### 使用手順(排出口の開閉方法)

**●排出口の開け方/閉じ方**

- ①キャップを外します**  
二重ロックされている上から見て左回り方向に回転させ、クリナリーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグを外します。
- ②尿を排出します**  
操作つまみを180°(上から見ると右回り)方向に回転させます。この時、尿の排出が行われます。
- ③キャップを付けます**  
操作つまみを180°(上から見ると右回り)方向に回転させ、クリナリーパウチから接続チューブ、蓄尿バッグを外します。

**●接続チューブの付け方(夜間など他の蓄尿バッグが必要な時にお使いください)**

- ①コネクターを差し込みます**  
付属の接続チューブに、ご使用中に蓄尿バッグのコネクターを差し込みます。  
\*別売の「接続バッグ1号」をご使用の場合、この接続チューブは必要ありません。
- ②接続チューブを回転させます**  
次に、キャップを外したクリナリーパウチに、接続チューブを「カチン」と音がするまで強く差し込みます。この際、接続チューブのツメ部分が口具の溝にしっかりと嵌まっていることを確認します。
- ③操作つまみを回転させます**  
最後に操作つまみを180°(上から見ると右回り)方向に回転させ、接続チューブ、蓄尿バッグへ導尿されます。  
\*接続チューブを使用時は、チューブの穴が折れにくいようにご注意ください。

### 接続チューブの使用上のご注意

接続チューブ(ツメ部分)は、排出口(カサ部分)の上まで確実に差し込んでください。

**●接続チューブの接続状態について**  
\*差し込みが確実にない場合、接続チューブが外れる原因となります。

接続チューブのツメ部分が排出口のカサ部分の上まで差し込まれている

ツメ部分、カサ部分

排出口の上まで差し込んでいない

キャップリングを挟んでいる

**●「操作つまみ」の適切な状態の確認方法**  
\*回転が不十分な場合や可動域を超えて回転させた場合、排出口の穴れや「壊れ」の原因となります。

完全に閉じた状態  
操作つまみとストーマ袋の間に、すき間がありません。

完全に開いた状態  
操作つまみとストーマ袋の間に、約6mmのすき間があります。

約6mm

### 使用手順(排出口の開閉方法)<Dfの場合>

**●Dfの排出口の開閉方法**

- ①クリップを開きます**  
図のようにストッパーを押しながら引き上げると、クリップを開きます。
- ②ストーマ袋を巻きつけます**  
引き上げたアーム部分にストーマ袋のクリップラインを合わせて一重に巻きつけます。  
\*クリップのカーブが体に合うように向けください。
- ③クリップを閉じます**  
ストッパーを押しながらクリップを閉じます。  
\*最後にクリップがきちんと閉じているか確認してください。

**●Dfの排出口の開け方/排出方法**

- ①クリップを外します**  
しっかりとストーマ袋を押さえ、クリップのストッパーを押しながら引き上げてクリップを外します。  
\*ストーマ袋を押さえておくことで、クリップを外した際に、急に便が排出されることを防ぎます。
- ②便を排出します**  
ストーマ袋の先端に便が付着し、臭いモレの原因にならないように、排出口を外側に折り返します。排出口を下に向け、ストーマ袋内の便を排出します。  
\*ストーマ袋の折り返しがしやすいように幅広いベルボトム形状になっています。
- ③ストーマ袋の先端をクリップで止めます**  
便の排出が済んだら、排出口部分をストッパーペーパーなどで拭き、折り返しを戻し、またクリップで止めます。

### 使用手順(排出口の開閉方法)<TDfの場合>

**●TDfの排出口の開閉方法**

- ①末端を折り戻す**  
末端のプレートを手前へ4回折り上げます。  
\*折り上げにゆるみや原因があると、便や臭いモレの原因となります。
- ②面ファスナーのフック面が表になります**  
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出きます。
- ③フック面にループ面を重ねます**  
フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押し付けて面ファスナーを止めます。

**●TDfの排出口の開け方/排出方法**

- ①フラップ部分を剥がします**  
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がします。
- ②折り上げた部分を開きます**  
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートからストーマ袋の排出口が開いた状態で保持され、排出がスムーズに行われます。  
\*V字にしっかりと折って、クセをつけます。
- ③便を排出します**  
ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出します。  
\*排出口の先に便が残っていると、便や臭いモレが発生することがありますので、排出口付近にしっかりと拭き取ってから閉じてください。

### 使用手順(排出口の開閉方法)<D キャップの場合>

**●D キャップの排出方法/排出口の開閉方法**

- ①キャップを外します**  
排出口を上に向け、便が出てこないよう注意しながらキャップを外します。
- ②便を排出します**  
キャップを口具キャップ止め具に止め、排出口をトイレに向け、便を排出します。  
\*排出口に残りが多い場合には、口具部分を指先で押して、便をしぼり出してください。
- ③キャップを閉じます**  
排出が終わりましたら、排出口部分をイレイトペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

**●この場合には**

●排泄物に残りかすが多く、詰まりやすい場合  
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合  
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

●ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合  
逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

\*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。